

園名 エデュケアセンター・めぐろ

2024年11月20日(水)

【 自然との関わり 】

活動のねらい 活動を通して秋の自然に触れながら様々な言葉を知る。

子どもたちが秋を五感で感じる



【環境をデザインする】

準備したもの: 模造紙、絵具、画用紙、のり

【気づき・振り返り】

今回の活動のきっかけは、散歩時に落ち葉に興味を持ち、落ち葉を千切ることによって夢中になっていた様子と、室内遊びでのカラーボールなどで色に興味を持ったことから、赤い色である紅葉の木を「すくわく」を通して保育室に表現しようと始めました。また、普段の製作でも子どもたちが好きな手形で紅葉の葉っぱを表現し、木の模様部分は画用紙を千切って表現しました。紅葉の葉っぱの表現では、思うがままに絵の具の付いた手を画用紙に付け、絵の具を使う事を楽しみながら製作することが出来、良かったと感じます。また、保育室で紅葉の木を見ると「ペタペタした」など、言葉の発達が進んだと感じ、またお散歩の活動でも実際に握ってみたり、視覚、触覚などを通して秋を五感で感じる事が出来ました。

園名 エデュケアセンター・めぐろ インファント 二期

2024年12月25日(水)

【 自然との関わり 】

活動のねらい 活動を通して秋の自然に触れながら様々な言葉を知る。

子どもたちが秋を五感で感じる



【環境をデザインする】

準備したもの: 模造紙、絵具、画用紙、のり、タンポ

【気づき・振り返り】

今回のすくわくでは、季節が進み全ての紅葉が下に落ち、木の枝のみになった様子を表現しました。一期と同様、千切ることが大好きな子どもたちなので、木の枝は画用紙を千切り、繋げて表現しました。また、落ちた紅葉は、色合いを実際に公園に見に行き、落ち葉に触れてみたり、千切ってみたりと、五感を通して季節を感じられたと思います。またそれを、タンポで色んな色の絵の具を使い自然の色を表現しました。2期では木に付いていた物が、季節が進み下に落ちる自然を「すくわく」を通して感じる事が出来たと思います。

【自然との関わり】

活動のねらい 身近な環境に興味を持ち、自然と触れ合う事を楽しむ。その中で、季節の移り変わりや新たな発見をし、感性を育む。また自然との交流の中で他児との仲を深める。



【環境をデザインする】

準備したもの：

☆画用紙(複数色) ☆絵の具 ☆丸シール

【気付き・振り返り】

今回の活動のきっかけは戸外活動時、皆で口をそろえて「かわをみる～！」と川に興味津々だった事です。「目黒川」を見る事を楽しみにしている子ども達。「きょうはカモさんいるかな～？」とカモに会えた日は喜び、会えなかった日には「さむいからかな～？」「おなかすいちゃったかな？」とカモの気持ちになって熟考している姿が見られます。上記より第一期として、**カモの製作**を行いました。カモはどんな色だったか。どんなお顔だったのか。友達と話し合いながら、観察をし、意欲的に製作に取り組んでいました。製作物完成後も壁面に飾られている自作のカモを見て、「つくったかもさんいるかな」とより積極的に戸外活動に参加している姿が見られます。カモをよく観察した事で、カモと他の鳥の区別をつけられる子もいて、「あのとりなんだろ」と新たな自然への興味も高まっている様子です。

園名 エデュケアセンター・めぐろ ひよこ組

2025年1月10日(金)

【自然との関わり】

活動のねらい 身近な環境に興味を持ち、自然と触れ合う事を楽しむ。その中で、季節の移り変わりや新たな発見をし、感性を育む。また自然との交流の中で他児との仲を深める。



【環境をデザインする】

準備したもの：

☆画用紙(白) ☆クレヨン



【気づき・振り返り】

第二期の自然との関わりでは、**木の製作**を行いました。“目黒川”に並ぶ桜並木。子どもたちは、木を見上げ、「はっぱ」と手を伸ばしたり、夏は「むしさんいるかな？」と探したり、楽しみにしているスポットの一つです。今回はその“木”をテーマに活動を行いました。どんな模様だったか。どんな色だったか。を考え、正解は作らず、自分の好きな色で色塗りを行いました。「そのいろだっけ～？」「じょうずだね」と友達との会話を楽しみながら製作していました。この製作では、クレヨンを使う練習や狭い枠の中に色を塗る練習も兼ねて行いました。自然に興味を持ち、その興味を活かして製作を行う事で、生活への影響も大きい事を感じる事が出来ました。桜並木を発端として、より一層色々な草木に興味を持ち、枝が折れていると「だいじょうぶ？」と声を掛けるなど、命が宿っている事を感じながら接している姿を見る事が出来ました。



【 自然との関わり 】

活動のねらい

日々の戸外の情景を子どもたちの創造性につなげ、表現の幅を広げていく

感触を実感し、色彩においても深めることができる



【環境をデザインする】

準備したもの: ☆筆 ☆バケツ ☆パーパータオル
☆絵の具(各色) ☆ブルーシート ☆タオル(4枚)

【気づき・振り返り】

第三期の自然との関わりでは、川(目黒川)の製作を行いました。これまでは、周辺のものにフォーカスをあて製作としても小さな規模でしたが、三期では全体像に着目し、川という大きなテーマの製作を試みました。絵の具を手で伸ばす。という工程から、色に触れ“青”に注目しクレヨンへ。最後は川(海)を水族館に見立ててブルーシートの上での遊びも広がりました。子ども、保育者とともにとても楽しみながら取り組むことができ、子ども達からも「またやりたい」と言葉が出るほどでした。川→青色→海というように、子どもたちの中での創造の広がりを感じ、色についても深める事ができました。引き続き、戸外の情景に触れながら、物事の繋がりを製作の中に取り入れていきたいと思えます。

園名 エデュケアセンター・めぐろ

2025年 10月30日(木)

【 季節の移り変わりを観察しよう 】

活動のねらい 自然観察から感情や情緒を育み、心の働きを豊かにする。



【環境をデザインする】

準備したもの：模造紙・絵の具・画用紙・折り紙・のり
緩衝材(紙)・毛糸

【気づき・振り返り】

うさぎ組は「どんぐりの木」をテーマにすくわくプロジェクトを行いました。公園に行くとき必ずと言っていいほどどんぐりを拾っていたうさぎさん。そこから「どんぐりの木はどれかな?」「葉っぱは何色かな?」「木をさわってみよう!」などと広がっていき、どんぐりの木の製作をすることにしました。「つるつる?」「ぼこぼこ?」「ざらざら?」などと問いかけながら触った木。子ども達から出た「ぼこぼこ」「ざらざら」「でこぼこ」などを感じられるような材料を用意し、素手で絵の具を塗って同じような感触か確認しながら製作しました。

公園への散歩では、紙芝居「バイバイまたね」というどんぐりの木が子どもと話す場面を思い出し、「どんぐりたくさんありがとう」と木に話しかける姿があり、親しみを感じて楽しんでいました。

園名 エデュケアセンター・めぐろ

2025年 1月30日(木)

【 季節の移り変わりを観察しよう 】

活動のねらい 自然観察から感情や情緒を育み、心の働きを豊かにする。



ボール紙のでこぼした素材を感じたり、より本物に近い色になるよう絵の具で塗ったり、公園で行った落ち葉あそびを再現したりもしました。



【環境をデザインする】

準備したもの: 模造紙・絵の具・クレヨン・ボール紙

【気づき・振り返り】

第一期に引き続き、「どんぐりの木」を観察した。普段のお散歩で木を見ると「もう葉っぱないねえ」などと話していたのだが、改めてどんぐりの木を見に行くと冬でも葉っぱがあるという事に気が付くことができた。

自然の中では保育者も子どもの視点に合わせ、木を見上げたり、触ったりなどを一緒に楽しんだ。声掛けをなるべくしないで「どんな音？」「どんな色？」など見方を伝え、子ども達の言葉を引き出せるようにした。新しい発見は友だちと共有して、会話の言葉を増やす工夫をした。

製作では一期と素材を変え折り紙やボール紙を用意し実際に触ってどの素材が木に近いかを選んでもらい、ボール紙を使って製作した。

自然観察を日常化すると、部屋で過ごす時も少しの変化に気付くことが多くなった。

園名 エデュケアセンター・めぐろ

2025年 3月24日(月)

【 季節の移り変わりを観察しよう 】

活動のねらい 自然観察から感情や情緒を育み、心の働きを豊かにする。



季節の変化を感じ、振り返る事が出来るように、めくって少し前の季節の落ち葉も見ることが出来るように工夫した。



【環境をデザインする】

準備したもの:画用紙・絵の具・クレヨン・ボール紙

【気づき・振り返り】

「どんぐりの木」を観察していき、探して行くたびに探していた。まだあるものの以前よりも落ち葉やどんぐりが少なくなっていることに気が付く姿があった。

そこで、どんぐりの木のまわりにはいるものやあるものに注目出来るよう声掛けをし、探してみたところ「ハト」との声が多く上がったので、ハトの製作を行った。

ハトを作る際には「色」に注目して活動した。ハトをよく観察してみると何色か色が入っていることに気が付いた子どもがいたので、園にかえて分かりやすいようにハトのイラストを印刷し、それを見ながらクレヨンで色を塗った。また、大部分を占める灰色は絵の具で塗ったのだが、色を作る様子を見て「すごーい!」「なんでかなー?」と不思議がる姿もあった。また、絵の具がクレヨンをはじくのも楽しんでた。

園名 エデュケアセンター・めぐろ

2024年10月30日(水)

【 みかんの木を観察してみよう 】

活動のねらい 自然に触れる中で植物の成長過程を知り、様々な素材を用いて表現する



① 大きな夏みかんの木を発見！「どんな色かな？」



②「塗りすぎると紙が破れちゃうから慎重に！」



【環境をデザインする】

準備したもの：段ボール・絵具・筆・テープ・ポンド・ペン類・モール・紙粘土・廃材等

【気づき・振り返り】

今回の活動のきっかけは、お散歩先の公園敷地内に大きな夏みかんの木があり、子どもたちも通りかかるたびに興味を示していたので、すくわくを通して表現してみようと思い組み始めた。まずはどのような廃材を用いて組み立てていくのか、しっかり話し合いを重ねていき、実際に製作しながら試行錯誤を繰り返した。子どもたちは自身で材質の違いや特徴に気づき、うまく組み合わせながら完成を目指していた。また実も「ぼこぼこしてたけど、ツルツルもしてたよね」など意見交換をしながら形を捉え、形にすることを楽しんでいった。今後の活動でも子ども達が疑問に感じたことに対して、調べたり表現できるように環境から整えていきたいと思う。

園名 エデュケアセンター・めぐろ

2024年 1月31日(金)

【 みかんの木を探してみよう 】

活動のねらい みかんの木を探しながら、地域交流を深める



【環境をデザインする】
準備したもの:鉛筆・地図・丸シール

【気づき・振り返り】
2期では保育園周辺にみかんの木はどのくらいあるのか、またどこにあるのかを探検ごっこのように取り組んだ。またその後探して見つけたものを「地図にしたい!」という意見もあり、写真と地図を照らし合わせながらみかんマップを作成した。

普段、目を向けることが少ない場所にも視野を広げることで、次々と新たな発見をすることができた。またその中で理解を深めようと絵を描いてみたり、図鑑で調べるなど積極的な姿も多く見られるようになった。3期では実際に実に触れ、中身を観察したり、皮の活用方法など子どもたちと意見を交わしながら取り組んでいきたい。

園名 エデュケアセンター・めぐろ

2024年2月21日(金)

【 夏みかんの足湯を体験してみよう 】

活動のねらい 実物に触れることで新たな発見をしたり、自然への興味を広げる



【環境をデザインする】
準備したもの： たらい・お湯・夏みかん



【気付き・振り返り】

今回の活動のきっかけはこれまで取り組んできた夏みかんの観察の中で、「皮にもにおいがついてるのかな？」というこどもの何気ない一言からヒントを貰いました。

夏みかんの実物に初めて触れた子どもたちは、まず重さや香りを確認していました。そこから手でこすってみたり、手に付いた香りを楽しむ様子がありました。

皮をむいた後はより強くなった柑橘ならではの香りを楽しみ、足湯では「あったかくていい匂いだね～！」とお友だちとの会話も弾んでいました。

今回の活動を通して、子どもたちの自然への興味をより引き出せたのではないかと思います。

